

洋光台エリア会議 報告資料

- ・ 新型コロナウイルスのケアプラザの対応について
- ・ 地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”
- ・ 消費者被害・社会参加についてのアンケート
- ・ 感染予防に関する取り組み
- ・ 食支援配分会@CCラボ

令和3年5月26日

洋光台地域ケアプラザ

1

新型コロナウイルスのケアプラザの対応について

■ 12/11~現在

- ・ 検温・消毒
体温測定カメラ、自動手指消毒器の設置
- ・ 貸室
定員：多目的ホール50名 調理室5名 地域ケアルーム10名
ボランティアコーナー25名
※食事会・茶話会の時は定員の半分以下
- ・ 活動
出席者・利用者同士の間隔【最低限人と人が接触しない程度の間隔（目安1m）】を十分に確保した上で実施
社交ダンス等のサークルも工夫しながら活動

2

地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”

■今後の予定

- ・地域の方から寄せられたお花見ウォーキングの写真をもとに「フォトギャラリー」を実施（6月頃から1ヶ月間）
- ・西公園での交流会（6/26(土)10:00～12:00）
クッブ、リトミック、パラバルーンなど
- ・秋に向けて
ウォーキング検討



5

消費者被害・社会参加についてのアンケート

■背景

洋光台地区消費生活推進員「コロナ禍でも相互方向の啓発活動を」
洋光台地域CP「社会参加への関心を広めたい」



連携・協議の場を開催…参加者に消費生活アドバイザー、
NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワークをお招きする

■スケジュール

R2.8月「消費者被害・社会参加のアンケート」内容検討

R2.11月 アンケート実施

団地エリア：六街区自治会650世帯

戸建てエリア：六丁目南自治会240世帯、峰洋自治会320世帯



アンケートページ

6

消費者被害・社会参加についてのアンケート

■スケジュール

・R3.3月 集計報告

問Ⅰ～Ⅵについて分析

⇒ 1210世帯で回収率が **38.3%**

男性の回答も全体の4割と高く、今回QRコードを採用しネット上でも回答できるようにしたことで、40・50代の回答が増えたと思われる。自由記述欄も熱心な回答が多かった

・地域へのフィードバックの検討

⇒ A4サイズの用紙にアンケートの簡易結果と全アンケート結果が見られるようにQRコードを記載。自由記述の生の声を生かすために、**消費者被害コラム**として掲載し、消費生活アドバイザーからアドバイスも添える。回覧板を通して配布



アンケート集計結果

・R3.4月 主に問Ⅶ～社会参加・自由記述の分析。今後に向けて

⇒ 情報は出しても繋がりにくい。若いうちから意図的に地域活動に繋げる仕掛けが必要。5月から地域デビュー講座を開催。社会参加の定義についても伝えていく

7

感染予防に関する取り組み

■包括レベル地域ケア会議（12月）

テーマ『新型コロナウイルス拡大時期の実際』

- ・自治会長、民生委員、介護サービス事業所(CM、デイサービス、訪問介護、訪問看護)をはじめ、UR、大学病院、も参加
- ・地域活動、サービス提供の苦労・工夫について報告、社協から貸付、区役所からメンタルヘルスの話があり様々な状況共有、意見交換が行われた



■洋光台の介護事業所を対象にした感染予防技術研修会



- ・在宅医療連携拠点に講師依頼
- ・正しい知識と実践技術

“感染経験者を排除しないで
自分達も守る“



8

食支援配分会@CCラボ

■内容

- ・地域から寄せられた食料品などをもとに、新型コロナウイルスで生活にお困りの人に食料品等をお配りする

■主催：磯子区社会福祉協議会、洋光台地域ケアプラザ

共催：洋光台地区社会福祉協議会、まちまど 洋光台-まちの窓口

協力：地元商店「東急ストア、YAWARA-BREAD、パティスリーリュニック」
地域の作業所「つばさ」

■配布世帯数

当日：33世帯 個別対応13世帯



会場の様子



地域の方から寄せられた食料品など



ご寄付の手作りお菓子